

スクールマネジメント実践報告書

102 城東中学校

地域とともにある学校づくり

小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	<p>夢や志をもち、その実現に向けて、自ら考え、最後まであきらめずに挑戦する子ども</p> <p><知> 仲間とよりよくかかわりながら進んで学ぶ子ども</p> <p><徳> 思いやりの心をもち、自分も仲間も大切にしている子ども</p> <p><体> よりよい生活習慣を身に付け、粘り強くやりぬく子ども</p>
我が校の目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの「あ・じ・み」をキーワードに、自立と思いやりのある生徒 ・ 自他の良さに気付き、お互いを認め合える生徒 ・ 夢や志をもち、あきらめずに粘り強く挑戦する生徒



小中一貫教育の具体的な取組	
我が校の取組	中学校区の取組
<p>・ 11月上旬から中旬にかけて、一斉同和教育授業を行い、部落差別の事例を通し、学校生活における「他を尊重する心」「互いを認め合う心」の醸成を図った。</p> <p>また、いじめ見逃しゼロスクール運動と連動し、全校での集会、クラスでのワンアクション運動を通して、実践力と人権感覚の醸成を図った。</p> <p>・ 英語では端末を活用してのスピーキング練習やゲーム形式の学習を導入した。</p>	<p>・ 年度ごとに教科・領域を絞り、焦点化した中で推進していく。</p> <p>・ 同和教育部会では、指導計画の見直し、現地学習、かかわる同和教育の実践・推進、同和教育アンケート等を実践し、差別をなくそうとする児童生徒を育成する。</p> <p>・ 学習指導部会では、外国語（英語）教育の内容を把握し、小から中へスムーズな接続ができるように共有化を図る。</p>
成果○と課題■	成果○と課題■
<p>○ 11月から12月を城東中いじめ見逃しゼロ強調月間とし、同和教育の授業と実生活を結び付けて考えさせる取組ができた。</p> <p>■ コロナが収束したら、中学校の教員が小学校での外国語（英語）の出前授業等の連携を検討していく。</p>	<p>○ 同和教育部会は3年目の取組になり、実践の積み重ねや中学校区の同和教育年間指導計画の実施や見直しをスムーズに行うことができた。</p> <p>■ 今年度から取り組む外国語（英語）部会の取組は、今後つながりの部分の共通理解を図っていく。</p>

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
<p>充実感をもたせながら、生徒の思いやりの心や自己肯定感を高めていく取組を教育活動の中核として推進し、自分を見つめ直し、今後の生き方を考えるようになった。</p>	技術・家庭	「快適な衣生活」（1年）
	総合	「働くこと」について考える（1年）
<p>学校運営協議会の評価</p> <p>適宜活動の見直しを図りながらも無理のない活動を展開することを基本に、生徒の声や意見を聞きながら、主体的に取り組むことができる活動を推進してほしい。</p>	夢・志チャレンジスクール事業の取組は、目指す子ども像の実現に有効であった	
	○	当てはまる
		どちらかという当てはまる
		どちらかという当てはまらない
	当てはまらない	

スクールのマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	4人	保護者	3人	住民	9人	その他	0人	合計	16人
学校運営協議会の回数 ※()は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	1回 (0)	2学期	1回 (0)	3学期	1回 (1)	合計	3回 (1)
	中学校区合同	1学期	0回 (0)	2学期	0回 (0)	3学期	1回 (1)	合計	1回 (1)

活動の内容	成果○と課題■
<ul style="list-style-type: none"> ・第1回の会議では、学校経営の基本方針やランドデザイン、目指す生徒像等のチェックをし、学校評価等の評価内容等を確認した。 ・第2回の会議では、学校及び生徒の様子を確認し、学校関係者評価会議を開催した。教務主任、研究主任、生徒指導主事、生徒会担当を加え、グループ協議を行い、中間評価と今後の方向性について議論した。 ・第3回の会議は、感染症の影響を受け、書面での会議となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○会議の前段には、地区大会激励会の参観やiPadを活用した授業の参観をし、生徒の様子やICTを活用した学習を見ていただいた。 ○第2回の学校関係者評価は、メンバーを増やして、学校の各プロジェクトの推進を担う教員が協議に参加したことは、成果と課題を明確にすることに有効であった。

総括
<p>感染症予防対策の中であっても、第1回2回と生徒の様子を参観してもらい、学校の現状を見ていただいてからの会議は、生徒の状況や教師の実際に沿った内容を具体的に話し合うことに効果的であった。学校評価の保護者評価にも、学校を訪れる機会が減ったため、現状を知りたい、残念であるといった声があった。地域との協働や保護者の協力を得ながら、教育活動を推進するための今後の活動を再構築していきたい。</p>

〈活動写真〉



○3中学校区育成会議合同 あいさつ運動(10月)

城北・城東・城西の3中学校区合同で同時期にあいさつ運動を行った。



○合唱コンクール(11月)

2年ぶりに開催。上越文化会館の大ホールで、全校生徒、保護に向けて、学級の心をひとつにした歌声を響かせた。



○技術・家庭「和装体験」(10月)

和装の良さや歴史について、着付けを通して体感し、日本文化への理解と日常生活における衣服への関心を高め、衣文化の伝承と発展を目指す。